



2026 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 エプコ

代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之

(コード番号 2311 東証スタンダード市場)

問合せ先 常務執行役員 CFO 平川 智久

(TEL. 03-6853-9165)

2026 年 12 月期第 2 四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年2月12日に公表した2026年12月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2026 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,162	107	227	187	20.93
今回修正予想 (B)	3,446	209	251	173	19.39
増減額 (B-A)	+284	+102	+23	▲13	—
増減率 (%)	+9.0	+95.7	+10.3	▲7.3	—
参考:前期第 2 四半期実績 (2025 年 12 月期第 2 四半期)	3,351	218	235	201	22.47

2026 年 12 月期通期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,680	399	624	485	54.27
今回修正予想 (B)	7,215	527	671	485	54.27
増減額 (B-A)	+534	+128	+47	0	—
増減率 (%)	+8.0	+32.2	+7.5	0.0	—
参考:前期実績 (2025 年 12 月期)	6,252	376	481	424	47.47

2. 修正の理由

(1) 売上高及び営業利益

当第2四半期累計期間において、再エネサービス及びメンテナンスサービスにおける売上高及び営業利益が計画を上回る見通しとなったことが主な要因であります。

(単位：百万円)	売上高			営業利益		
セグメント	前回発表	今回修正	増減	前回発表	今回修正	増減
再エネ	1,064	1,350	+286	59	126	+66
メンテナンス	1,029	1,043	+14	169	203	+35
設計	1,067	1,051	▲15	161	152	▲9
全社費用	—	—	—	▲281	▲272	+9
合計	3,162	3,446	+284	107	209	+102

【再エネサービス (ENE' s)】

子会社の ENE' s については、TEPCO ホームテックからの太陽光発電設備関連工事の受注が安定的に推移していることに加え、前期より継続している大手ハウスメーカー向け大口案件の受注件数が当第2四半期（2026年4月1日～6月30日）において期首計画を上回ったことにより、再エネサービスの売上高及び営業利益は第2四半期累計期間の業績予想を上回る見込みとなりました。

【メンテナンスサービス】

主要得意先からの受託業務の増加、新規業務の獲得及び価格改定の効果による増収に加え、AI・DXによる生産性の向上が当初想定を上回るペースで進捗したことにより、メンテナンスサービスの売上高及び営業利益は第2四半期累計期間の業績予想を上回る見込みとなりました。

(2) 経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益

当第2四半期累計期間において、前述（1）による売上高及び営業利益が計画比で上振れした一方で、再エネサービスにおける持分法適用会社である TEPCO ホームテックに関する持分法投資損益が当初計画を下回る見込みとなったことが、親会社株主に帰属する中間純利益の下方修正の主な要因であります。

(単位：百万円)	持分法投資損益		
持分法適用会社	前回発表	今回修正	増減
TEPCO ホームテック	108	37	▲70

【再エネサービス (TEPCO ホームテック)】

TEPCO ホームテックの当第2四半期累計期間における売上高は 5,116 百万円（前期比+3.5%、計画比▲11.6%）となる見込みであり、前年同期比では増収となるものの、計画を下回って推移しております。また、競争環境の変化等による利益率の低下に伴い、持分法投資損益についても当初計画を下回る見込みです。

以上の理由から、当第２四半期累計期間の売上高、営業利益及び経常利益が前回発表予想を上回る見込みとなる一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、前回発表予想を下回る見込みとなりました。また、今後の事業環境の見通しを勘案した結果、2026 年 2 月 12 日に公表いたしました通期連結業績予想について、売上高、営業利益、経常利益をそれぞれ修正いたします。

なお、今後も事業環境の変化を注視し、更なる業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

3. 配当予想について

当社の配当方針に基づき安定的な配当を実施するべく、第２四半期末及び期末における 1 株当たり配当予想額（第２四半期末：15 円、期末：20 円、合計 35 円）は据え置きとする方針です。

※本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上